

〈日本史探究③〉 平安時代④

教科書:P.65~P.69

1 国文学の発達

① 10c~11cには、日本独特の文学や美術などが数多くつくられる(1.)
文化が、(2.)を中心に発展した。それを象徴するのが(3.)
の発達で、^{かずかず}万葉仮名の草書体を簡略化した(4.)や、漢字の一部を
取った(5.)が使われ始めた。
以→メ→イ 伊→イ

- (1) 10~11cに展開した貴族中心の文化は? ()
(2) (1)が発達した時期に成立し、日記文学・物語文学を発達させたのは? ()

② まず、和歌が盛んになり、905年に<6.>天皇の命で<7.>
らによって最初の(8.)和歌集である『9.』が編纂された。
『新古今和歌集』まで続く(10.)の最初となった。編者のワは、最初の
かな日記である『11.』も著した。

③ 他にも、朗詠[和歌や漢詩文に節を付けて詠む]に適した和歌と漢詩文を
を集めたものである『12.』が<13.>によて撰されたり、
『14.』といふ百科漢和辞典が<15.>によて編まれた。

④ かな物語では、「物語の出で来はじめの祖」といわれた『16.』や六歌仙
の一人の<17.>をモデルとした歌物語の『18.』、10c後半に
は、左大将の娘貴宮をめぐる結婚譚の『19.』や継子いじめの物語
の『20.』が生まれた。11cになると、日本古典文学の最高峰とされる
『21.』が一条天皇の中宮<22.>に仕えた<23.>に
よって書かれた。

- (1) 11c初めに成立した世界最古の長編物語で、藤原氏全盛期の貴族社会
を描写した物語文学の最高峰とされているものは? ()

⑤ 日記・隨筆では、974年ごろに成立した<24.>の母の『25.』
1001年ごろに成立した、一条天皇の皇后<26.>に仕えた<27.>の
『28.』や1060年ごろに成立した<29.>の女の『30.』などがある。

(1) 一条天皇の皇后定子に仕えた人物によって書かれた隨筆は? ()

2 国風文化の書道・住宅・美術工芸

① 書道では、(31.)とよばれた <32. >・<33. >

<34. > の名手が現れた。33の代表作に『35. 』があり、34の作品には『白氏詩巻』があり、世尊寺流の祖となった。

(1) それまでの唐風の書に対し、優美な線を表した和様が発達したが、その名手と称された人々のことを何と呼ぶ? ()

(2) (1)をすべてあげよう。 ()・()・()

② 平安時代には貴族の住宅として、中央に(36.)、東西に(37.)を置く(38.)の様式で建てられ、屏風など建物内部の仕切りには、中国の故事や風景を描いた唐絵とともに、日本の風物を描く(39.)も描かれた。<40. > はその祖とされている。

(1) 平安時代中期に成立した、日本風の貴族の住宅様式を? ()

(2) 10cになると、唐絵に代わって、日本の風物を題材とする何が描かれた? ()

③ また屋内の調度品にも、漆で文様を描き、それに金・銀などの金属粉によって絵模様をあらわす(41.)の装飾や夜光貝などの貝殻を薄く磨き、器物にはめ込む(42.)の装飾がほどこされた。

(1) 平安時代に完成した技法で、漆で文様を描き、金銀などの金属粉によって絵模様とするものを? ()

3 貴族の服装

① 平安時代の男性貴族の正装には(43.)やそれを簡略にした(44.)があり、通常服には(45.)や(46.)があった。46から変化した(47.)は庶民の男子や武士に用いられた。女性の通常服は(48.)に(49.)を着けた。

(1) 平安貴族男子の正装を何という? ()

② 平安貴族女子の正装は(50.)を用い、後に(51.)とよばれた。

(1) 平安貴族女子の正装に用いられたのは? ()

④貴族の生活

①10~15歳ぐらいで男性は(1.)、女性は(2.)の式をあげて、成人として扱われた。9世紀半ば以降、大祓や七夕など、宮中で毎年同じ時期に行われる儀式である(3.)が発展した。

②平安時代以降、人々は中国の宇宙觀・哲学觀である(4.)説に基づく(5.)道の影響から、貴族は(6.)の指示に従って、一定期間、特定の建物の中で謹慎する(7.)や、凶の方角を避けて移動する(8.)などの行動をとった。

③3に参加したときの経験を先例として子孫に伝えるために、貴族たちは日記を記した。その日記は、季節や日の吉凶が書かれた(9.)の余白部分に書き込まれた。

⑤摂関時代の仏教・神道・信仰

①摂関時代の仏教は、天台・真言の2宗が圧倒的な勢力をもち、現世利益を求める貴族と強く結びついた。また、仏教の根本經典である(10.)を書写し、これをのちに伝えるため容器[=11.]におさめて地中に埋める(12.)も、各地に宮された。

②その一方で神仏習合も進み、神は仏の仮の姿すなわち(13.)であるとする(14.)も生まれた。

(1)神仏習合の風潮が進むにつれて、在来の神々は仏が仮に形をかえて現れたものとする思想が生まれたが、これを何といつか? ()

③この時代には怨霊や疫神をまつることで疫病や飢饉などの災厄から逃れようとする(15.)が広まり、(16.)を祀った(17.)神社や、現在ハ坂神社と呼ばれている(18.)などで(19.)という法会祭礼が行われた。

(1)御靈信仰に基づく、法会や祭礼を何といつか? ()

⑥浄土の信仰

①現世利益を求める様々な信仰と並んで、(20.)も流行してきた。20は、(21.)を信仰し、来世において極楽淨土に往生することを願う教である。この信仰は、(22.)によって、そう強められた。22とは仏教の予言思想で、釈迦入滅から1000年間である(23.)、次の1000年間である(24.)を経て、(25.)年から(26.)の世に至り、仏法が衰える乱世といわれた。

- (1)阿弥陀仏を信仰し、来世の極楽往生を願う教とは？ ()
(2)(1)を広めることに大きな影響を与えた、釈迦の死後から仏法が衰え、やがて仏法が滅び世が乱れるとした仏教思想は？ ()

②10c半ばに、<27.>が京の市で20を説いて(28.)とよばれ、ついで<29.>[]が985年に『30.』を著して、『31.』を唱える(32.)による極楽往生の方法を説いた。往生を遂げたとされる人々の伝記を集めたものである(33.)としては、<34.>の『35.』が最初で、他に<36.>の『37.』がある。

- (1)民間の浄土教の始祖といわれ、10c半ばには京の市で人々に念佛を勧めた僧侶は？ ()
(2)極楽往生を願い、「南無阿弥陀仏」を口に唱えることを？ ()
(3)延暦寺に学び、985年に念佛往生の方法を説いた『往生要集』を著した人物は？ ()

③20の流行にともない、これに関連した建築・美術作品が数多くつくられた。1053年に、<38.>が京都(39.)に建てた(40.)は、(41.)の代表的遺構である。父の<42.>も20を信仰して(43.)を建てたが、現在は残っていない。

- (1)11c以降、阿弥陀仏を安置する建物が建てられたが、これを？ ()
(2)藤原頼通が1053年に建てた(1)の代表的遺構は？ ()

④40内の(44.)像は<45.>がつくった(46.)造による彫刻である。また、往生しようとする人を仏が迎えにくる場面を示した(47.)もさかんに描かれた。代表作に「48.」がある。